

日本と「北朝鮮問題」

2012年9月13日

日本教育者韓国学ワークショップ

朴正鎮（ソウル大学日本研究所）

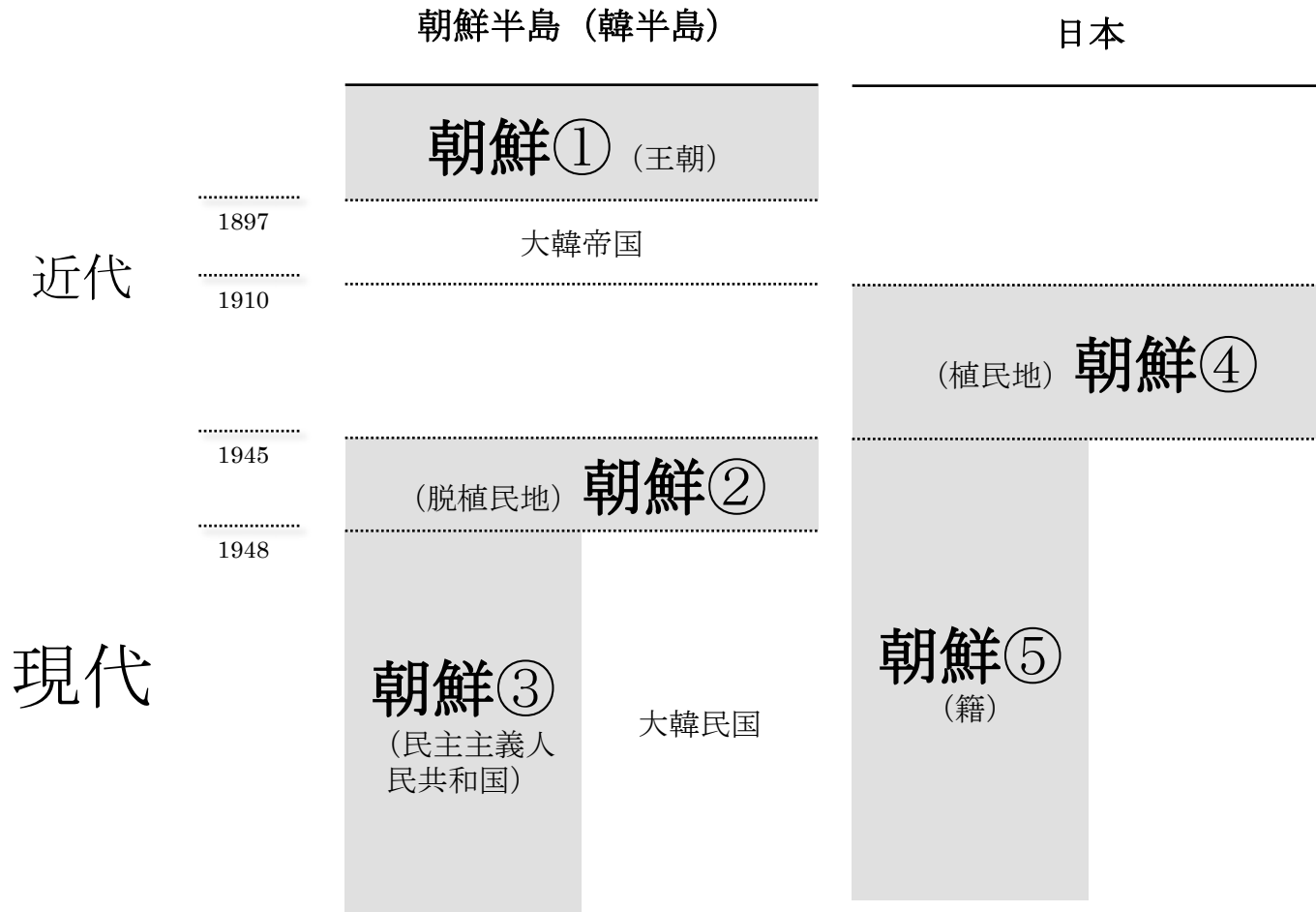
はじめに

1. 北にある「朝鮮」、いかに読むべきか
(北「朝鮮」問題と日本)
2. 日本というフィルターを通してみた北朝鮮は
日本における北朝鮮問題)
3. 北朝鮮問題と日本の間には何があったか
(北朝鮮問題と日朝関係)
4. 北朝鮮問題の解決のために、日本はいかに関わっているのか
(北朝鮮問題の現在と日本)

1. 北「朝鮮」問題と日本

- 「朝鮮」という言葉から考える

1. 北「朝鮮」問題と日本



1. 北「朝鮮」問題と日本

韓国、大韓民国

北傀（北韓傀儡政權）、北韓、北側

Republic of Korea (ROK), South Korea

朝鮮、共和国、朝鮮民主主義人民共和國

南朝鮮傀儡政權、南朝鮮、南側

Democratic People's Republic of Korea (DPRK), North Korea

1. 北「朝鮮」問題と日本

韓国、大韓民国

北朝鮮、朝鮮民主主義人民共和国、朝鮮、共和国

在日朝鮮人、在日韓国朝鮮人、在日コリアン

在日韓人、在日韓国人、在日同胞

「朝鮮」： 地域＋歴史＋理念

2. 日本における北朝鮮問題

- 2002年、北朝鮮シンδροームの記憶

2. 日本における北朝鮮問題

2000. 6.15 南北首脳会談



6.15共同宣言

大韓民国

朝鮮民主主義人民共和国

2002. 9.17 日朝首脳会談



平壤宣言

日本国

朝鮮民主主義人民共和国

2. 日本における北朝鮮問題

「2002年、北朝鮮シンδροーム」

- 歴史的な反転: 平壤宣言から拉致問題へ
- 日本人の物語: 溢れ出る北朝鮮情報
- 相互誤解(misperception)の相乗効果

2. 日本における北朝鮮問題

韓国

包容政策（太陽政策；
Sunshine Policy）

関与政策（Engagement
Policy）と統一政策

再び「北韓」へ

日本

太陽政策 = 統一政策
= 融和政策（Appeasement
Policy）

北朝鮮の核
= 朝鮮民族の核

再び「北朝鮮」へ

3. 北朝鮮問題と日朝関係

- 北朝鮮における「核」と「日本」

3. 北朝鮮問題と日朝関係

(1) 冷戦期の日朝関係：二つのサイクル

- 平和共存（1955-1960）と「65年秩序」の形成
- デタント（1970-1975）と「65年秩序」の再編
- それから「拉致問題」

(2) ポスト冷戦と日朝交渉

- 北朝鮮のTwo-track・アプローチ
：「核」と「日本」

3. 北朝鮮問題と日朝関係

第1回-8回 日朝国交正常化交渉本会談 (1991-1992)

第1次北朝鮮の核危機 (1993)
米朝枠組み合意 (1994)
ペリー報告書の採択 (1999)

第9回-11回 日朝国交正常化交渉本会談 (2000)

9.11同時多発テロ (2001)
日朝平壤宣言 (2002)

第12回 日朝国交正常化交渉本会談 (2002)

第2次北朝鮮の核危機 (2002)
第3次北朝鮮の核危機 ? (2009-)

(3) 日朝国交正常化

- 日本の朝鮮半島に対する戦後処理の完結
- 北朝鮮の体制改革プログラムと国際コンソーシアム
- 東アジアと朝鮮半島の平和への日本のイニシアチブ

4. 北朝鮮問題の現在と日本

- ロード・マップの更新？

4. 北朝鮮問題の現在と日本

(1) 日韓共同宣言（21世紀に向けた新たな日韓パートナーシップ）（1998）

第7項

- 朝鮮半島の平和と安定のためには、北朝鮮が改革と開放を指向するとともに、対話を通じたより建設的な姿勢をとることが極めて重要であるとの認識を共有（金大中大統領の対北朝鮮政策に対し支持を表明）
 - 米国と北朝鮮との間で署名された「合意された枠組み」及び朝鮮半島エネルギー開発機構（KEDO）を、北朝鮮の核計画の推進を阻むための最も現実的かつ効果的なメカニズムとして維持していくことの重要性を確認
-

(2) 日朝平壤宣言 (2002)

第4項

- 北東アジア地域の平和と安定を維持、強化するため、互いに協力していくことを確認
 - この地域の関係各国の間に、相互の信頼に基づく協力関係が構築されることの重要性を確認するとともに、この地域の関係国間の関係が正常化されるにつれ、地域の信頼醸成を図るための枠組みを整備していくことが重要であるとの認識
 - 核問題及びミサイル問題を含む安全保障上の諸問題に関し、関係諸国間の対話を促進し、問題解決を図ることの必要性を確認
-

(3) 9.19 共同声明 (2005)

第2項

- 日本と北朝鮮は、平壤宣言に従って、不幸な過去を清算し懸案事項を解決することを基礎として、国交を正常化するための措置をとることを約束

第4項

- 6者は、北東アジア地域の永続的な平和と安定のための共同の努力を約束（中略）朝鮮半島における恒久的な平和体制について協議（中略）北東アジア地域における安全保障面の協力を促進するための方策について探求していくことに合意

おわりに

1. 認識の問題

: 北朝鮮に対する「ドクサ（臆見；Doxa）」

2. 過去の問題

: 歴史を考え、問題をあえて複雑にするという発想

3. 未来の問題

: 東アジア、そして「日本と朝鮮半島」という視座に立った想像力